

AO/TORI BUNKO

講談社 青い鳥文庫

バイバイ スクール

——学校の七不思議事件——

はやみね かおる／作 吾妻ひでお／絵





講談社 青い鳥文庫 174-4

バイバイ スクール
——学校の七不思議事件——

はやみね かおる

1996年2月15日 第1刷発行

2000年4月17日 第9刷発行

(定価はカバーに表示してあります。)

発行者 野間佐和子

発行所 株式会社講談社

東京都文京区音羽2-12-21 郵便番号112-8001

電話 出版部 (03) 5395-3536

販売部 (03) 5395-3625

製作部 (03) 5395-3615

N. D. C. 913 226p 18cm

装丁 久住和代

印刷 図書印刷株式会社

製本 図書印刷株式会社

© KAORU HAYAMINE 1996

Printed in Japan

本書の無断複写(コピー)は著作権法上の例外を除き、禁じられています。

ISBN4-06-148440-0 (児二)

(落丁本・乱丁本は、講談社書籍製作部あてにお送りください。送料小社負担にておとりかえます。)

■この本についてのお問い合わせは、講談社児童局「青い鳥文庫」係にご連絡ください。



バイバイ スクール

——学校の七不思議事件——

学院図書館
書章



はやみね かおる／作 吾妻ひでお／絵



講談社 青い鳥文庫

もくじ

手紙^{てがみ}みたいなプロローグ 5

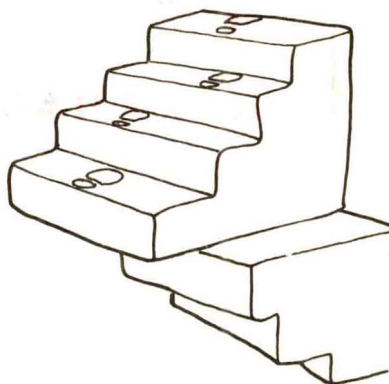
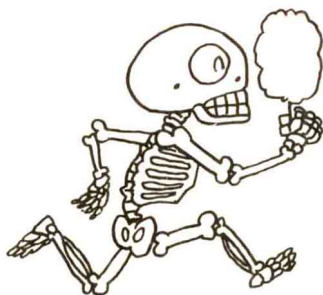
1 大奥村^{おおおくむら}小学校^{しょうがっこう}が廃校^{はいこう}になる日^ひ 13

2 幽霊^{ゆうれい}バスのなぞ 30

3 ワコのおじいちゃん 58

4 大奥小^{おおおくしょう}の先生^{せんせい}と生徒^{せいと}たち 65

5 かみなりさんのへそのゴマ 85



6 七不思議のうちの三不思議 107

7 きもだめし 120

8 十四段の階段が十三段にへる 147

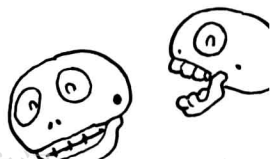
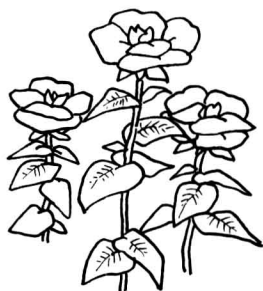
9 なぜ七不思議は起こった？ 160

10 七不思議の犯人は？ 172

11 七不思議のしかけ人 207

手紙みたいなエピソード 218

あとがき 223



手紙^{てがみ}みたいなプロローグ

会^あったことのない「あなた」へ……………

宮沢^{みやざわ}和子^{かずこ}



あなたの学校^{がっこう}に、七不思議^{ななふしぎ}ってありますか？

えっ、「七不思議^{ななふしぎ}」ってなんのことかって？

ほら、だれもない音楽室^{おんがくしつ}からピアノの音^{おと}がするとか、ろうかの鏡^{かがみ}に血^ちだらけの顔^{かお}がうつるとか、学校^{がっこう}が建^たつ前は墓地^{ぼち}だったとか……。そういうのって、きいたことあるでしよ。

わかった？

それでね、わたしの学校^{がっこう}——大奥村^{おおおくむら}小学校^{しょうがっこう}にも七不思議^{ななふしぎ}があつてね。

ききたい？ まあ、そうあせらないで。

で、大奥村おおくむら小学校の七不思議ななふしぎのすごいところはね、よくある子どもだましの怪談話かいだんばなしじゃなくって、ほんとうに起きるってことなの。

うそだらうって？

ほんとよ！ わたしたちは、ほんとに自分たちの目で見たの。

ここまで読んで、あなたが「おもしろそうだな。」って思ったら、どうぞ、この物語ものがたりを読んでみてね。そして、どうしてこんな七不思議ななふしぎが起こったのかを、わたしたちと考かんがえてみましょう。

いい？

じゃあ、登場人物とうじょうじんぶつの紹介しょうかいをしましょう。

えっ、まだ物語ものがたりをはじめないのかって？

だって、わたし、長い物語ものがたりになると、登場人物とうじょうじんぶつの名まえがおぼえられなくて、だれがだれだかわからなくなるんだもん。だから、「自分で物語ものがたりを書くときは、そのページをあければ、ひと目でだれがだれだかわかる『登場人物とうじょうじんぶつの表ひょう』をつくるぞ。」って、きめてたの。

それをいまから書くね。

もし、これを読んでるあなたが、「登場人物? そんなもん一回読めば、おぼえられるよ。」という記憶力のいい人なら、どうぞ、さきへ進んでください。

だけど、わたしとおなじように登場人物をおぼえるのが苦手な人なら、このページに
しおりをはさんでおくといいよ。

じゃ——。

《大奥村小学校の生徒たち》

●わたし——宮沢和子●

ほんとうは「和子」って名まえだけど、みんな「ワコ」ってよぶ。

大奥村小学校の六年生。身長 百六十五センチ、体重 四十五キロ。

よく中学生に「まちがえられるくらい背が高い。(わたしは、低い子が

うらやましい。)好きなものは、アイスクリームと映画。だから、

映画館の中で映写機のカタカタいう音をききながらアイスクリーム





を食べてるときが最高にしあわせ。(もつとも、わたしの村に映画館はないけど……。)

● 川上桃子 ●

桃子ちゃん。五年生。わたしの親友。円いめがねをかけた、かわいい子。そんなに勉強しているようには見えないけど、成績はとていい。学校全体のまとめ役。

● 小林葉介 ●

通称ヨースケ。六年生。背はあんまり高くないけど、横に広がっているから、わたしよりも大きく見える。力は強い。でも、勉強のほうは、ちよつと、ね。大奥小のボス的存在。

● 江口直人 ●

通称バリオ。六年生。本人にその気はないのに、学校のコメディアンのような子。背が高く、カッコいいし、ものすごい努力家だから、勉強もまあまあできる。でも、なんとなくオカシイ。

●法難功●
（のりがたいきお）



通称コウくん。六年生。今年のお正月に転校してきた。おとなしくて、勉強ができてなくて、スポーツがダメで、力もない男の子。でもみんなは、コウくんがほんとうはすごい能力をもっていることを知っている。（その能力については、そのうち書くからね。）

●小林 由佳●
（こばやし ゆか）



一年生。ヨースケの妹。さいわいなことにアニキにはぜんぜん似てなくて、とつてもかわいいマスコットのような存在。なにかあるたびに、「ワコも一年生のときは、小さくて、かわいかったのにな……。」と比べられるのであまりおもしろくないけど、由佳ちゃん
はかわいいので、ゆるしちゃう。

六年生が四人。五年生が一人。

四年生、三年生、二年生はいない。

そして、一年生がたった一人。
以上の六人が、大奥村小学校の全児童。



《大奥村小学校の先生たち》

●校長（ポンポコリン）●

たぬきのようなスタイルから「ポンポコリン」というあだ名がついた。本名はちゃんとおあるんだろうけど、わたしは知らない。（たぶん、ヨースケたちも知らないと思う。）

●風街美里●

わたしたちの担任の先生。大奥小の教師のなかでは、いちばん若くて二十六歳。空手の達人。

●森口篤志●

学校の修理にかけては、大工さんよりじょうず。五十歳。

●及川浩子●





国語を教えるのが得意。とてもやさしくて、ぽっちゃりした先生。

四十二歳。

●黒田敬一●

理科が好きで、いつも実験をしている。「未来の科学になう実験をしているんだ！」が口ぐせ。よごれた白衣がトレードマーク。

●賀呂博史●

図工の先生。絵がじょうずで、大きな展示会でよく入選している。絵の好きな由佳ちゃんは、賀呂先生のファン。

●三村雅史●

音楽の先生。趣味はビデオ撮影。いつもカメラをまわして学校行事などを記録している。

ついでにいうと、黒田先生、賀呂先生、三村先生の三人は、みんな二十九歳で、みんな独身で、みんな風街先生にほれていて、おたがいにはライバルをけ落とそうとアタックして

るんだけど、みんな相手にされてない。(かわいいそう……。)

こんなもんなかな。

だれか紹介するのわすれてるかもしれないけど、
では、本編をはじめましょう。
思いだしたら、また書くね。

Are you ready? (ううかな?)

1 大奥村小学校が廃校になる日

入道雲がソフトクリームみたい。

太陽も、ようやく山のむこうからその姿をぜんぶあらわした。

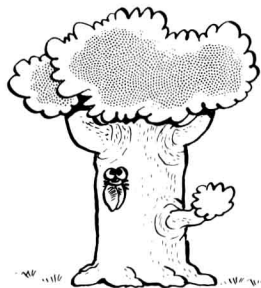
姿を見せる前から熱気だ

けをジリジリおくってくるなんて、ひきようだと思わない？

わたしは校庭のどまん中に、うでまくらをしてねっころがっていた。

空の青を二つに区切るように、切りだした材木を運ぶためのロープウエーのケーブルが、校庭の上を走っている。(このロープウエーは、山から学校と役場の上を通って、材木置き場の中州までのびている。)

横を見ると、鼻の高さまでのびた草がゆれている。手をのばして、四、五本ひっこぬいた。



わたしは、一学期末の『おわかれ記念の大掃除日』を思いだしていた。
脱水症状になりながら半日かけて草取りしたのに、もうこんなに草がはえちゃったのか……。

ねころんだまま、手がふれる範囲の草をむしる。

今日も、きのうとおなじ。暑くなりそう。そして、あしたからも、草はのびつづけるだろう。でも、みんなとブツブツいいながら草取りすることは、もうない……。

そのとき、校内放送がきこえてきた。

「ワコさん、すぐに体育館にきてください。終業式がはじまっちゃうよ。」

桃子ちゃんの声だ。(うちの学校は、校内放送を子どもたちが自由に使ってもよいことになっている。)わたしは立ちあがり、服のよごれをはらって、大きくのびをする。

元気をだして！ なんといいても、今日で大奥村小学校はおわるんだから。最後の最後、ちゃんと胸をはって、悔いのないようにしよう。

七月二十一日——一学期の終業式の日。そして同時に、大奥村小学校が廃校になる日。

わたしは、学校がっこうってあんまり好きじゃなかった。とくに、テストと身体測定しんたいそくていのある日は、学校がっこうが火事かじにならないかなって思うくらいだった。（大奥小は三角屋根さんかくやねの古い木造校舎もくぞうこうしゃだから、きつとよくもえるぞ。）

でも去年きよねん、ほんとうに学校がっこうが廃校はいこうになるってきいたとき、胸むねがキュンとなった。

大奥村小学校おおくむらしやうがっこうが、なくなる……。

すぐにはわからなかったけど、由佳ちゃんや桃子ちゃんももこが泣きだして、わたしにも理解りかいできた。学校がっこうがなくなるってことは、悲しいことなんだ、さびしいことなんだって……。

テストや身体測定しんたいそくていがなくなるのはうれしいけど、給食きゅうしょくも、遠足えんそくも、運動会うんどうかいも、球技大きゅうぎたい会かいも、文化祭ぶんかさいも、プールも……、みんななくなっちゃうんだ。（いまわかったけど、学校がっこうって、きれいな部分ぶぶんよりも、好きな部分ぶぶんのほうが何倍なんばいも多いんだ。）

わたしたちは廃校はいこうに反対はんたいした。先生たちせんせいも、村の人たちむらひとも反対はんたいした。（うちのおじいちゃんなんか、鉄砲てつぱうまで持ちだしてきたもんね。）でも、どうにもならなかった。

今日きょう、七月がつ二十一日にちで、大奥村小学校おおくむらしやうがっこうの百十五年ひゃくごしゅうねんの歴史れきしはとじられる。